

資料9 小教区評議会について

1. その目的と機能

- (1) ・ 小教区評議会(以下評議会という)はその小教区と共同体にとって本当に何が必要なのかを識別するために奉仕します。
 - ・ そのため評議委員は、福音が求めることと、この世におけるキリスト者の実際の生活との間に開き(遊離)があることを認識します。
 - ・ ゆえに、評議会は祈りのうちに共に時を過ごし、愛と信頼で一致する目的で黙想し、共同体のために神の御旨を識別します。
- (2) ・ 評議会は小教区とその共同体に応えるために、目標と優先すべきことを決めるための役を担います。
 - ・ 評議会の決定事項は司教の指針と一致しています。
 - ・ ゆえに、評議会によってなされることはおもに宣教方針の決定、日々の運営は各委員会(スタッフ)によってなされます。
 - ・ 主任司祭は会議に出席し、識別の過程への全き参加を経てなされた評議会の決定事項を承認します。
- (3) ・ 評議会は福音宣教に向けられています。
 - ・ 評議会はその小教区の使徒的、宣教的、霊的必要の中で最優先するものを確実に与えるために置かれているのです。
 - ・ 評議会は信徒に洗礼、堅信を通しての使徒職に生きることに招きます。
- (4) ・ 評議会は神の意志を求めて集まった神の民の交わりです。
 - ・ それは参加し決定できるような w 価値愛の場を提供し責任を共にする信仰共同体です。
- (5) ・ 評議会は神の民のさまざまな役割(司祭、修道者、信徒)を結びつけます。
 - ・ 評議会は小教区におけるあらゆる種類の新しいタレントを見いだします。
 - ・ すなわち評議会は神の民の賜物を認め、感謝し、そして個々の人のユニークな賜物を現し生かすように努めます。
- (6) ・ 評議会は小教区共同体の対話のための効果的な機関です。
- (7) ・ 評議会は新しいさまざまな奉仕職のための養成の場でもあります。
 - ・ 祈りと霊性、キリスト者としての教育と養成、人間的関心事と正義と平和そして小教区の刷新などの豊かさに触れるからです。
 - ・ 評議会は成人の信仰教育のために重要な機会です。
- (8) ・ 評議会は代表です。老いも若きも、男性も女性も、受洗者も未洗者もすべての分野の代表です。
- (9) ・ 評議会は小教区刷新のためのふさわしい機関です。
 - ・ それゆえ、評議会はチャレンジ(挑戦)することやリスク(危険)を恐れません。
- (10) ・ 評議会は協力的です。
 - ・ 教区、地区の構成員としての小教区は、教会の使命を遂行していくために、他の小教区と協力することを求めます。

W・J ラディマッハー著
名古屋教区研修医委員会訳
『小教区評議会のための実践ガイド』参照

2. 評価基準

(1) 小教区評議会の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> a. 定期的に開かれているか b. 小教区共同体との連動は
(2) 構成メンバー	<ul style="list-style-type: none"> a. 構成メンバーの選出の仕方・年齢・男女の割合など b. 評議委員の任期設定と実践がなされているか
(3) 議題の準備提案のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> a. 議題提案・選定は誰か b. 福音的チャレンジを受けているか c. 事前の準備と後のフォローは確認されているか
(4) 決定実践の評価	<ul style="list-style-type: none"> a. 決定事項が実践(尊重)されているか b. 実行後の評価がなされているか
(5) 参加度・分かち合い度・雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> a. 自発性を促進させているか b. 責任分担がなされているか c. 自由な発言・平等が尊重されているか
(6) 方向性	<ul style="list-style-type: none"> a. 宣教プランに基づいた会議か b. 年間目標を据えているか c. 福稲記チャレンジを受け止めようとしているか d. 弱い立場の人々を大切にする姿勢は
(7) 開かれ度	<ul style="list-style-type: none"> a. 分かち合われているか b. 情報の共有がなされているか c. 自由な発言・平等が尊重されているか
(8) 時間配分	<ul style="list-style-type: none"> a. 議題の精選をしているか b. 議題の内容がどのようなものが多いか c. 行事計画だけに終始していないか d. 運営の仕方がスムーズか
(9) 会議の成熟度	<ul style="list-style-type: none"> a. 現実が基盤になっているか b. 福音宣教のための会議か c. 共同体のレベルでの考察か d. 祈りの中での決定か・識別か e. 参加者は奉仕者としての自覚を持っているか
(10) 地区・教区との連携	<ul style="list-style-type: none"> a. 地区や教区評議会との連携を大切にしているか
(11) 司祭の役割	<ul style="list-style-type: none"> a. 人を生かそうとしているか b. 一人の奉仕者としての自覚を持っているか
(12) 満足度	<ul style="list-style-type: none"> a. 参加者が生かされ大切にされているか b. 参加する喜びを持っているか c. 自由な発言・平等が尊重されているか
(13) 評議会の新生教会への理解度	<p>福音宣教を目指す大阪教区の新生教会像に照らし合わせて評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 「谷間」に置かれた人々の心を生きる教会 b. 「交わり」の教会 c. 「共同責任」を担い合い、協働する教会 d. 聖霊の働きを識別しながらともに歩む教会 e. 司祭・修道者との協力を重視しながら、信徒の役割と責任(使命)を前面に出す教会